

令和 4 年 9 月 13 日

報道機関 各位

第 31 回「人文知」コレギウムおよび特別講演会

■概要

富山大学人文学部は、学部教員による研究会「人文知」コレギウムを定期的に開催しております。富山県の「人文知」の拠点として、人文研究のさらなる高みを目指して、様々な分野の教員が集い、相互に研究交流を図ります（「コレギウム」は「仲間たちの集い」という意味です）。

来る令和4年9月28日（水）に第31回コレギウム（発表者：高橋浩二先生（考古学・教授））と、2022年NHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』の時代考証を担当されている長村祥知先生（日本史・講師）による特別講演会を同日開催いたします。

詳細については、別添チラシをご参照ください。

■日時・場所 他

令和4年9月28日（水）13:30-15:30

富山大学人文学部棟3階第6講義室（対面にて開催）

（定員110名 ※事前登録が必要です）

第31回人文知コレギウム

13:30-14:30 高橋浩二 「杉谷4号墳の調査意義と築造背景」

特別講演会

14:30-15:30 長村祥知 「『鎌倉殿』と歴史学」

一般の方々や学生の聴講も可能です。多くの方々のご参加をお待ちしております。

つきましては、取材・報道方よろしくお取り計らい願います

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学人文学部事務系事務部人文学部総務課（人文担当）

TEL. 076-445-6131

ウェブサイト：<https://www.hmt.u-toyama.ac.jp>

第31回人文知コレgium

2022年9月28日(水) 13:30 - 14:30
於 富山大学人文学部第6講義室

杉谷4号墳の調査意義と築造背景

高橋浩二 (考古学・教授)

富山大学杉谷キャンパスに多数存在する遺跡の中でも、とりわけ重要なのが杉谷古墳群内にある杉谷4号墳である。1974年の発掘当時、山陰の限られた地域でしか見られない「四隅突出型」という特異な墓制であったことから全国的注目を集めた。発表では、これまでに実施された調査を振り返り、杉谷4号墳の意義や築造背景について考えていく。歴史・学術的に価値の高い史跡に値する遺跡か、利用価値のない「負の遺産」かを考える一助になればと思う。

同日開催 特別講演 14:30 - 15:30

「鎌倉殿」と歴史学

長村祥知 (日本史・講師)

NHK大河ドラマは、歴史の復元そのものではなく、創作を含むが、時代考証・風俗考証など複数の専門研究者の意見を採り入れて制作されているため、随所に学術研究の成果も反映される。

本報告では、鎌倉幕府2代執権 北条義時(1163~1224)を主人公とする2022年NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」のいくつかの具体例を通して、研究成果・史料に基づく作劇と創作の妙を解説したい。

また、ドラマの外に目を転ずると、例年、関連書籍が多数発行され、ゆかりの地では様々な催事が企画される。こうした産業や地域の振興への寄与は、日本史分野の学知が有する多様な可能性のごく一部にすぎないが、昨今の人文学の危機的状況のなかで、現代社会で学術が必要とされる状況の一端を紹介したい

事前申し込みお願い致します。下記URLまたはQRコードからお申し込みください。

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=Pxqw12Ujs0iFczfbm9gluKfUOTK-JFJEvf-f0mqex9UREFJMDRWT0pCUjM1TDREVk9CTFI5QkFYQy4u>

申込締切後、登録されたメールアドレスに詳細をお送りします。メールアドレスに誤りがあると案内をお送りすることができませんので、ご注意ください。前日までに連絡がない場合は、下記総務課にお問い合わせください。

申込締切：2022年9月25日(日)

聴講は無料です。学生・一般の方の聴講を歓迎いたします。

お問い合わせ 富山大学人社芸術系総務課(人文担当) jinbuns@adm.u-toyama.ac.jp

